

平成 29 年度 学校評価(自己評価)

朝陽幼稚園

1. 教育基本方針

「強く 正しく 伸び伸びと」をモットーに、
園児を中心として、保護者の皆様、教職員全員が笑顔で関わりを深めます。この関わり合いの中で、園児の心の中に自信に溢れた成長意欲を導き出します。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

- ① 心身ともに健康で基本的な生活習慣を身につける
- ② 一人一人の個性を大切に、人間性豊かな想像力を育てる
- ③ 正しいことは勇気をもってやりぬく実行力を育てる
- ④ 思いやりをもってだれとでもなかよく遊べるように育てる
- ⑤ 社会に貢献する人格の形成をめざす

3. 評価項目の達成及び今後の課題

評価項目	目標	目標設定理由	評価	自己評価	次年度の改善
課内教室の充実	園児の基礎体力向上	心と身体の健康を保つ	A	課内教室「体育指導」を通して十分に体を動かす機会が増えてきている。	継続して実施する。
想像力の醸成	生活や活動を通じて感受性を高める	絵画・音楽を通して、想像力を育てたい。	A	作品展、生活発表会では、園児の想像力が目に見えて豊かになって行くのが分かった。	表現領域の研修会へ、教員を積極的に参加させ、新しい教材研究のためのスキルアップを図る。 音楽鑑賞会、演奏会など情操教育を継続して実施する
コミュニケーション能力の育成	英会話に慣れるためにネイティブ講師と遊ぶ	英語に対する抵抗感を無くし、英語でのコミュニケーション能力を高める	A	「サンシャインキッズ」「セイハで遊ぼう」の課内授業を園児が楽しみにしていることが分かる	英語教師との触れ合う回数、時間を増やし、習うのではなく慣れることに主眼をおく。
安全管理	園児の安全を守る教育・施設設備の充実	園内外で園児が安心・安全な園生活や園活動が取り組める。	A	外壁リニューアルにより安全で明るい環境となった なお、園内での事故は5件発生した。	遊具での遊び方、集団行動におけるルールの指導を継続して行く。
教職員の資質向上	コミュニケーション向上	園児への気付き事項、教職員相互の気付き事項を情報連携する	B	園児の状況、健康状態について情報共有を行っている。	教員の入れ替わりがある中でも、均一の保育技術を維持できるようマニュアル、引継ぎ書を整備する

保護者と の一体教 育	保護者ニ ズへの対 応・卒園生 への支援・ 広報活動の 充実	保護者に園の教 育活動について の理解を深める。	A	お誕生会・図書貸出など、 保護者の教育力の協力を 得て園行事が充実し、保護 者との協働感がうまれている。	保護者参加の行事を充実 すると共に、保護者が来園 する機会を捉えて、園児の 活動を報告できるようにす る。
-------------------	---	--------------------------------	---	---	---

※評価 A:よくあてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:まったくあてはまらない E:わからない

3. 総合的な評価結果

評価	自己評価	次年度の改善
B	教員の入れ替わりがあったが、保育内容、保育技術等の基本的事項の質を維持することができた。 平成 28 年度より開設した、満 3 才児対象の「ひよこぐみ」と未就園児対象の園庭開放「にこにこランド」は平成 29 年度も好評であった。	当園の特色である自然との触れ合いと、伝統的建物である「朝陽館」をお借りした行事の 2 つの特色を PR し、他園では経験できない教育を行ってゆく。

※評価 A:よくあてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:まったくあてはまらない E:わからない

4. 学校関係者評価

平成 29 年度には幼稚園外壁を新しくして頂き、安全になったことと同時に明るくなったと思います。

保育参観、運動会、生活発表会などいろいろな保育場面を見て、朝陽幼稚園が大切にしている評価項目・取り組みが十分に達成されていることを確認させて頂きました。

朝陽幼稚園の特色は何と言っても隣接する自然環境の中で昆虫、小動植物と触れ合うこと、また、伝統的建築物である朝陽館をお借りして行う季節行事にあります。今後とも情操教育にも役立つ行事を継続して実施して欲しいと思います。

【学校関係者評価委員会構成】

評価委員長:朝陽幼稚園保護者会会長

評価委員 :保護者会役員 5 名

以 上